

NST通信

お知らせ

◆委員会

1月28(木) 16時00分～ 講義室

◆勉強会

1月28(木) 17時40分～ 大会議室

◇症例検討 or ミニレクチャー or 論文紹介
OP室・薬剤部

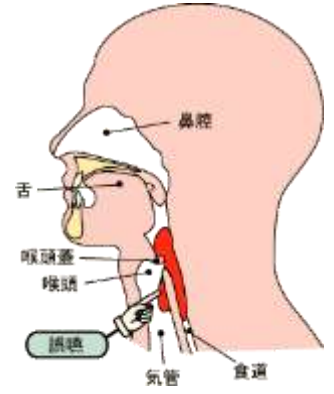


NST 通信では各部署のNST 委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなどを紹介しています。

今月は **3F** の担当です。

◎誤嚥性肺炎について

誤嚥とは、唾液や食物、胃液などが気管に入ってしまうことをいいます。その食物や唾液に含まれた細菌が気管から肺に入り込むことで起こるのが誤嚥性肺炎です。高齢者は嚥下機能の低下により誤嚥しやすくなるため、予防していくことが大切です。



◎誤嚥性肺炎の予防について

(1) 口腔の清潔を保つ

口腔は肺や胃腸の入り口です。適度な湿度と温度が保たれている口腔は細菌にとって居心地よく、歯磨きやうがいを怠るとすぐに細菌が繁殖します。そのため歯磨きをしっかり行ない、口のなかの細菌を繁殖させないこと、そして肺へ運び入れないことが重要です。

(2) 胃液の逆流を防ぐ

ゲップや胸焼けなどがある場合は、胃液の逆流が起こりえます。その場合、食後2時間ほど座って身体を起こしていることで、逆流を防止できます。

(3) 飲み込む力を鍛える

食事の際に、手のひらを開いたり閉じたりする、首を回す、足踏みをする、肩たたきをするなどして全身の筋肉をほぐし、飲み込む筋肉をリラックスさせると、誤嚥予防につながります。

また、舌で頬を内側から押す動作は、飲み込む力を鍛えることにつながります。



ERAS® 《術後の早期回復を目指した周術期プロトコル》について 栄養管理室

ERAS とは、ESPEN（欧州臨床栄養代謝学会）が提唱した、術後の早期回復を目指した周術期管理法で、Enhanced Recovery After Surgery (術後回復の強化) の略です。17項目の管理方法を集学的に実施する事で、術後合併症の減少、入院期間短縮などのエビデンスが示されています。

～ERASの要素(17項目)～		
<p>術前</p> <p>入院前カウンセリング 腸管の前準備なし 術前の炭水化物液投与 (絶飲食見直し) 麻酔前投与なし</p>	<p>術中</p> <p>経鼻胃管留置無し 硬膜外麻酔・鎮痛 短時間作用の麻酔薬 Na・輸液の過剰を避ける 小切開・不要なドレーズ無し 術中の体温管理・保温</p>	<p>術後</p> <p>早期離床・歩行 経口麻薬不使用/NSAIDs 使用 悪心・嘔吐予防 腸管運動の刺激、促進 ガーテル・ドレーズの早期除去 周術期経口摂取 遵守状態・アンケートの調査</p>

当院では、術前経口補水液として**アルジネードウォーター**を提供していましたが、各種ガイドラインを基に、胃排泄に時間のかかる可能性があるアミノ酸を含まない、**アクアファン**、**アクアソリタ**へ移行予定です。よろしくお願致します。

